

第1回「国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に  
必要な重量確定・情報伝達等のあり方に係る検討会」  
議事要旨

1. 日 時

日時：平成29年10月11日（水）10：00～12：10

2. 場 所

場所：中央合同庁舎2号館低層棟1階共用会議室2A・2B

3. 出席者

<委員>

岡委員（座長）、渡部委員（副座長）、黒川委員、三上委員（代理：武井氏）、豊福委員、  
小峰委員、富田委員、関野委員、飯田委員、鈴鹿委員（順不同）

<国土交通省>

相川 総合政策局 国際物流課 物流渉外官

江原 港湾局 港湾経済課長

菊池 海事局 外航課 専門官

緑川 海事局 検査測度課 危険物輸送対策室長

日坂 海事局 検査測度課 危険物輸送対策室 課長補佐

川崎 海事局 検査測度課 危険物輸送対策室 係員

（検討会事務局：海事局検査測度課）

<オブザーバー>

根木氏 NACCSセンター株式会社

鬼頭氏 EDI 専門家

仲野氏 株式会社Class NK コンサルティングサービス

4. 議 事

議題1 「国際海上輸出コンテナの安定的な輸送に必要な重量確定・情報伝達等のあり方に  
係る検討会」の設置・運営

議題2 平成28年度「国際海上輸出コンテナの総重量の確定制度」の概要及び改正条約発効後の状況

- (1) 我が国における改正SOLAS条約の国内取り入れ
- (2) 改正条約発効後の取組状況等（平成28年度実態調査）

議題3 直近の国際動向

- (1) 国際海事機関（IMO）第4回貨物運送小委員会の結果概要
- (2) 第70回 SMDGの結果概要

議題4 当面の課題への対応

## 5. 議事概要

### <議題1>

事務局より、検討会を設置するに当たっての要綱について資料1に沿って説明が行われ、委員の方々より了承が得られた。

### <議題2>

事務局より、国際海上輸出コンテナ総重量の検証を義務付ける改正SOLAS条約に伴う制度の経緯・概要について、資料2-1に沿って説明が行われた。委員からの我が国における届出・登録者の申請状況等に関する質問に対し事務局より詳細を説明した。

事務局より、昨年度（H28年度）に実施した調査結果の概要について、資料2-2に沿って説明が行われた。委員より、主に①コンテナ総重量情報伝達における電子的手法の利活用検討に当たっての目標、②重量の許容誤差を厳しく設定している一部国の動向を踏まえた我が国の対応について意見等があり、国土交通省より、新たな国際ルールに基づく国内制度が端緒についた状況であり、今後国内の届出・登録者や船社・港湾関係者に対するアンケート・ヒアリング調査分析（議題4）等を通じて詳細を検討していく旨説明した。

### <議題3>

直近の国際動向として、事務局より、本年9月にロンドンで開催された国際海事機関（IMO）第4回貨物運送小委員会の結果概要について資料3-1に沿って説明を行い、渡部委員より、欧州系の船社・港湾ターミナルを中心とした海上物流関係の各種メッセージ形式の標準化を検討する組織体であるSMDGの定期会合の結果概要について資料3-2に沿って説明が行われた。

#### <議題4>

事務局より、当面の課題への対応を検討していくにあたり、検討会として取り組んでいく事項について、資料4に沿って説明が行われた。今後、関係者に対するアンケート・ヒアリング調査を実施し、必要に応じ実務者間の打合せも行いながら検討を進めていくことが了承された。

#### [配付資料]

- 資料1 検討会設置要綱
- 資料2-1 改正SOLAS条約を踏まえた国際海上輸出コンテナ総重量確定制度  
(日本における制度概要)
- 資料2-2 改正SOLAS条約発効後の取組状況(平成28年度の実態調査結果報告)
- 資料3-1 直近の国際動向 ～国際海事機関(IMO)第4回貨物運送小委員会の結果概要～
- 資料3-2 直近の国際動向 ～第70回 SMDGの結果概要～
- 資料4 当面の課題への対応について(今後の見通し)